

いのはな亭 庭園文化講座

まちの情景と建築 シリーズ 始まる！ 講師：建築家 田中修一

第1回：平成31年2月21日（木） 第2回：平成31年3月14日（木）

中国ことわざ集、万葉集、神々の系譜（日本と世界）、星の話、など、これまで聞いていただいたテーマを思い出される方も多いかと存じますが、このたび満を持して、標記のテーマで新しいシリーズを始めることになりました。何せ、本業の建築家の知識を駆使してのお話なので、大いに期待していただけたと思います。

講座の趣旨

ヨーロッパは嘗てブナの大森林地帯でした。そこに暮らす住民は森を切り開き、細々と道を通し、集落を営む。周辺には生きるための畑を作る。でも、赤ずきんちゃんを守る大人たちはオオカミが怖かったので、どんどん切り開いて教会を建てました。現在のヨーロッパを見るとほとんど森は失われています。自然を破壊するといった観点から見れば、これほど乱暴なことはいない。

その点日本は国土の70%が森林として残っている。緑豊かな自然があふれている山に神や仏がおわします。人々はその地を敬い大切に守ってきました。どんなディベロッパーもここには手を付けられないので神々しく残って

テーマとその内容のリストをご紹介します。この後もずっと続きます。

いるのです。しかし急峻な山容も災いして放置されたまままで人が近づくこともできないのも事実です。折角の自然をもっと積極的に活用したいものですね。山と平地と海とは資源の育成に関して一体であることを承知しておきましょう。海の魚介類がおいしく育つためには、上流から豊富なミネラルが運ばれてくるのが不可欠なのです。美しいものに感動し、自然に畏敬の念を抱き、隣人をいたわる心があれば、日本の街はもっと良くなるし文化も進歩するはず。観光立国を標榜する我が国が、海外からの訪問者に胸を張れるためのまちづくりをみんなが心げようではありませんか。

1回目	神々の攻防	まちの情景	キーポイント
世界編	イスラム教徒がキリスト教の聖地を強奪	トルコ・イスタンブール ブルーモスク	トルコの聖堂は正教会と同じドーム型をしている理由がわかる
日本編	荒ぶる神スサノオと祇園祭	京都・祇園 八坂の塔（法観寺）	スサノオを鎮めるために周りには色町がひしめく。大黒様も
2回目	神への憧れ		
世界編	イエス・キリストの家族	スペイン・バルセロナ サグラダファミリア	イエス、マリア、ヨセフの親子が晴れて神に列せられた記念聖堂
日本編	神社チェーンのNo.1 お稲荷様	京都・洛南 伏見稲荷大社	神社はコンビニと同じチェーン組織。ご利益第一



ハルシュタット湖

モーツアルトの生まれ故郷はオーストリアのザルツブルグ。さらにその奥に佇む村落のなんと静謐なことか。

ザルツブルグ